

業績リスト(過去3年)

* (1. 著書	2. 論文)	3. 訳書	4. 研究ノート	5. 書評
6. 調査報告書	7. その他文筆活動	8. 作品発表	9. 学会発表	10. 講義・講演
11. テレビ・ラジオ等出演	12. 公的活動	13. 研究助成採択	14. その他	

* (1. 著書 2. 論文)は別途掲載

吉池 毅志 (よしいけ たかし) [社会福祉学科 准教授]

2023年

9. 学会発表

- ・谷口由希子, 栄留里美, 吉池毅志, 尼崎市子どものための権利擁護委員会の活動. 日本子ども虐待防止学会 公募シンポジウム. 地方自治体が設置する子どもの権利擁護機関における権利の具現化および課題. 立命館大学びわこくさつキャンパス. 2023年11月

10. 講義・講演

- ・吉池毅志. 精神医療と人権. 大阪公立大学2023年度人権週間特別講演会. 大阪公立大学杉本キャンパス. 2023年12月
- ・吉池毅志. 私にもできる、ボランティア. 吹田市精神保健福祉ボランティア講座. 吹田市総合福祉会館. 2023年2月
- ・吉池毅志. 虐待が生まれない環境を目指して 院内虐待防止の実践から. 社会福祉法人大阪自彊館 虐待防止研修. 大阪自彊館. 2023年9月
- ・吉池毅志. 子どもの人権とアドボカシー. 吹田チャイルドライン研修. 吹田市立岸部市民センター. 2023年8月
- ・吉池毅志. コミュニケーション力を高め合う. 大阪市教育・保育職員等研修. 大阪市保育・幼児教育センター. 2023年6月
- ・吉池毅志. 私にもできる、ボランティア. 吹田市精神保健福祉ボランティア講座. 吹田市総合福祉会館. 2023年2月
- ・吉池毅志. 子どもの声をキャッチし、動く、いのちのセーフティーネットを. 尼崎市いじめ問題対策連絡協議会研修. あまがさき・ひと咲きプラザ. 2023年2月

12. 公的活動

- ・特定非営利活動法人 障害者地域生活支援の会なにわ 理事
- ・特定非営利活動法人 精神障害と社会を考える啓発の会 理事
- ・社会福祉法人 風媒花 評議員
- ・医療法人 清風会 茨木病院 福祉事業部 第三者委員
- ・豊中市 介護支援給付等支給審査会 副会長
- ・社会福祉法人 のぞみ福祉会 評議員
- ・特定非営利活動法人 子どもアドボカシーセンターOSAKA 理事
- ・日本病院・地域精神医学会 理事 事務局長, 組織再建委員会委員長
- ・『精神医療』 編集委員
- ・子どもアドボカシー学会 理事
- ・尼崎市 子どものための権利擁護委員会 副委員長
- ・みずほりサーチ&テクノロジー株式会社 令和4年度障害者総合福祉推進事業「障害児入所施設及び障害児通所支援事業所を利用する障害のある子どもの権利擁護在り方に関する調査研究」検討委員会委員
- ・吹田市 自立支援協議会 会長
- ・精神医療フォーラム2023 実行委員長

13. 研究助成採択

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者 (含他所属)
堀正嗣 (熊本学園 大学)	科学研究費 補助金 基盤研究 (B)	障害児の地域移行を志 向する施設訪問アドボカ シーシステムの開発	R2～R6	38 (令和5年度 吉池分担分)	鳥海直美(四天王寺大学), 吉池毅志, 栗田李佳(三重大学), 栄留里美(大分大学)
	概 要 (薫英研究費・無)				
	H29～R1年度に実施した「障害児者入所施設における訪問アドボカシーシステム創出のためのアクションリサーチ」(科学研究費補助金基盤研究(B))からの継続的研究にあたる。長期に渡って施設生活を余儀なくされてきた障害児者の中には、管理された生活と社会的ネットワークからの隔絶、情報や経験の欠如、被虐待・権利侵害によるトラウマ等から、力を奪われ無為な生活を送っている人も少なくない。こうした人々は、自信や将来への希望を喪失し、施設入所の長期化や児童施設退所後も成人施設に移行する以外に選択肢のない状況に置かれている。本研究は、イギリスをモデルとした施設訪問アドボカシーと、当事者団体による地域移行支援の連携により、こうした状況を打破して利用者の権利擁護・エンパワメント・地域移行を一体的に支援する実践モデルを構築しようとするものである。				

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者 (含他所属)
堀正嗣 (熊本学園 大学)	日本学術 振興会 科学研究費 補助金・ 挑戦的 研究 (萌芽)	子どもの意見表明を支援 するアドボカシーセンター 創出のためのアクションリ サーチ	R3～R5	6 (令和5年度 吉池分担分)	栄留里美(大分大学), 奥田陸子, 奥村仁美 (NPOアドボカシーセンターOSAKA), 上村千尋(金城学院大学), 谷口由希子(名古屋市立大学), 昇慶一(常磐会学園大学), 吉池毅志, 吉岡洋子(関西大学)
	概 要 (薫英研究費・無)				
	イギリスの子どもアドボカシーサービスをモデルとして、援助過程における子どもの意見表明を独立性と専門性をもって支援する子どもアドボカシーセンター創設に向けたアクションリサーチを行ない、(1)子どもアドボカシーセンター制度化の方策、(2)公益性・持続可能性を担保した子どもアドボカシーセンター設立・運営方法、(3)専門性のある子どもアドボケイト養成・スーパービジョンの方法、(4)独立専門アドボカシー実践方法(訪問面接・苦情解決・会議参加支援)を明らかにすることを目的とする。本研究はこの分野を主導する研究として、類例のない独立専門アドボカシーの制度化の展望を切り拓こうとする挑戦的研究である。				

2022年

7. その他文筆活動

- ・吉池毅志. コラムSolidarity『人類としてのまなざし』による連帯－UNDP特別報告書『人新生の時代における人間の安全保障への新たな脅威：より大きな連帯を求めて』－. 精神医療. 2022;6:116-120
- ・吉池毅志. 巻頭言『うっせえわ』の時代に. 病院・地域精神医学. 2022;217:71-72

10. 講義・講演

- ・吉池毅志. 家族による電話相談の意義とこれからのを考える. 奈良県精神障害者家族会 電話相談員修. 奈良県文化会館. 2022年2月
- ・吉池毅志. 障害者施設におけるアドボカシー活動 その人の人生の側から見た、アドボケイトの登場と可能性. 子どもアドボカシー研究会 総会記念シンポジウム. なごや国際センター. 2022年5月
- ・吉池毅志. こころのやまいてなあに?. 生駒市こころの市民講座. 2022年7月

- ・吉池毅志. 保護者理解をさらに深める 精神保健福祉の視点とかわりかた. 大阪市教育・保育職員等研修. 大阪市保育・幼児教育センター. 2022年9月

11. テレビ・ラジオ等出演

- ・個人の尊厳保障へ分岐点 (『こちら特捜部』取材記事). 東京新聞朝刊. 2022年6月10日

12. 公的活動

- ・特定非営利活動法人 障害者地域生活支援の会なにわ 理事
- ・特定非営利活動法人 精神障害と社会を考える啓発の会 理事
- ・社会福祉法人 風媒花 評議員
- ・医療法人 清風会 茨木病院 福祉事業部 第三者委員
- ・豊中市 介護支援給付等支給審査会 副会長
- ・社会福祉法人 のぞみ福祉会 評議員
- ・特定非営利活動法人 子どもアドボカシーセンターOSAKA 理事
- ・公益社団法人 社会福祉振興・試験センター 精神保健福祉士試験委員
- ・日本病院・地域精神医学会 理事 事務局長 組織再建委員会委員長
- ・『精神医療』 編集委員
- ・子どもアドボカシー学会 理事
- ・尼崎市 子どものための権利擁護委員会 副委員長
- ・みずほりサーチ&テクノロジー株式会社 令和4年度障害者総合福祉推進事業「障害児入所施設及び障害児通所支援事業所を利用する障害のある子どもの権利擁護在り方に関する調査研究」検討委員会委員

13. 研究助成採択

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者 (含他所属)
堀正嗣 (熊本学園 大学)	科学研究費 補助金 基盤研究 (B)	障害児の地域移行を志 向する施設訪問アドボカ シーシステムの開発	R2~R6	38 (令和4年度 吉池分担分)	鳥海直美(四天王寺大学), 吉池毅志, 栗田李佳(三重大学), 榮留里美(大分大学)
					概要 (薫英研究費・無)
					H29~R1年度に実施した「障害児者入所施設における訪問アドボカシーシステム創出のためのアクションリサーチ」(科学研究費補助金基盤研究(B))からの継続的研究にあたる。長期に渡って施設生活を余儀なくされてきた障害児者の中には、管理された生活と社会的ネットワークからの隔絶、情報や経験の欠如、被虐待・権利侵害によるトラウマ等から、力を奪われ無為な生活を送っている人も少なくない。こうした人々は、自信や将来への希望を喪失し、施設入所の長期化や児童施設退所後も成人施設に移行する以外に選択肢のない状況に置かれている。本研究は、イギリスをモデルとした施設訪問アドボカシーと、当事者団体による地域移行支援の連携により、こうした状況を打破して利用者の権利擁護・エンパワメント・地域移行を一体的に支援する実践モデルを構築しようとするものである。

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者 (含他所属)				
堀正嗣 (熊本学園 大学)	日本学術 振興会 科学研究費 補助金・ 挑戦的 研究 (萌芽)	子どもの意見表明を支援 するアドボカシーセンター 創出のためのアクションリ サーチ	R3～R5	6 (令和4年度 吉池分担分)	栄留里美(大分大学), 奥田陸子, 奥村仁美 (NPOアドボカシーセンター-OSAKA), 上村千尋(金城学院大学), 谷口由希子(名古屋市立大学), 昇慶一(常磐会学園大学), 吉池毅志 , 吉岡洋子(関西大学)				
					概 要 (薫英研究費・無)				
					イギリスの子どもアドボカシーサービスをモデルとして、援助過程における子どもの意見表明を独立性と専門性をもって支援する子どもアドボカシーセンター創設に向けたアクションリサーチを行ない、(1)子どもアドボカシーセンター制度化の方策、(2)公益性・持続可能性を担保した子どもアドボカシーセンター設立・運営方法、(3)専門性のある子どもアドボカイト養成・スーパービジョンの方法、(4)独立専門アドボカシー実践方法(訪問面接・苦情解決・会議参加支援)を明らかにすることを目的とする。本研究はこの分野を主導する研究として、類例のない独立専門アドボカシーの制度化の展望を切り拓こうとする挑戦的研究である。				

2021年

5. 書評

- ・吉池毅志. 紹介 小林信子遺稿集-常に毅然として-. 精神医療. 2021;4:114-116

10. 講義・講演

- ・吉池毅志. 障害者施設におけるアドボカシーのプロセス. NPO法人子どもアドボカシーセンター-OSAKAアドボカイト養成講座. サンスクエア堺研修室. 2021年3月
- ・吉池毅志. 発達障害や精神障害などの課題とわたしたちの困りごと. 八尾市人権協会職員研修. プリズムホール会議室. 2021年3月
- ・吉池毅志. 保護者理解をさらに深める 精神保健福祉の視点とかわりかた. 大阪市教育・保育職員等研修. 大阪市保育・幼児教育センター. 2021年9月
- ・吉池毅志. もっぺんやろう! ボランティア. 吹田市精神保健福祉ボランティアフォローアップ講座. 吹田市総合福祉会館. 2021年11月
- ・吉池毅志. ソーシャルワーカーの本懐. 医療法人清風会ソーシャルワーカー研修. 清風会茨木病院. 2021年12月
- ・吉池毅志. アドボカシーの技術 葛藤とジレンマ. NPO法人子どもアドボカシーセンター-OSAKA子どもアドボカイト実践講座. サンスクエア堺研修室. 2021年12月

12. 公的活動

- ・特定非営利活動法人 障害者地域生活支援の会なにわ 理事
- ・特定非営利活動法人 精神障害と社会を考える啓発の会 理事
- ・社会福祉法人 風媒花 評議員
- ・医療法人 清風会 茨木病院 福祉事業部 第三者委員
- ・豊中市 介護支援給付等支給審査会 副会長・大阪府教育委員会 被害者救済システム評価委員会 評価委員
- ・社会福祉法人 のぞみ福祉会 評議員
- ・特定非営利活動法人 子どもアドボカシーセンター-OSAKA 理事
- ・公益社団法人 社会福祉振興・試験センター 精神保健福祉士試験委員
- ・日本病院・地域精神医学会 理事 組織委員会委員長
- ・『精神医療』編集委員